

妙典中ナーチャリングコミュニティ活動

「みんなで子どもたちを、みんなでボランティア」を合言葉に16のブロックでN・Cの事業が行われています。この事業は、様々な遊び（活動）を通して子どもたちを地域で育むとともに、地域教育力の向上を図っていこうというものです。子どもと大人が一緒に活動できる継続的なサークル活動や自由遊びの場づくり、子どもたち自身の企画や運営による活動を推進しています。

私達、市川市立妙典中学校の中でも、多くの生徒さんがこの活動に参加し、小学生の面倒や地域の方々とのふれあい活動を実践しています。とてもすばらしいことだと思います。今回は、そのメンバーを紹介しましょう。

中学3年生（敬称略）

中尾友香・柴原拓郎・时任隆宏・杉田裕行・野本弥千代・文屋衣美子・楠城麻菜・平野美幸・得地美咲・富永拓也・大谷裕希子・須藤啓太
横川翔



平成15年度「キャンプ」

合唱コンクール終わる



各学級から素敵な合唱練習の歌声が響きあっていた合唱コンクールは、各学年から下記の学級が本選にでました。1年生から4組・8組、2年から3組・4組、3年から1組・5組。その結果、学校代表として3年1組と5組が、文化会館の合唱祭に出場しました。学校代表として立派な合唱を披露してくれました。ご苦労さまでした。

写真「2年4組本選会場」

学校だより

平成15年11月17日
市川市立妙典中学校

私のヒザに息子の体温がもどってくる。
まだ小さかったころの。
息子は肩を寄せて森や川を指さす。
すでに秋は深い。
カキの実は色づき
ケヤキの葉は散りはじめた。
まるで秋の秋を見渡す。

私の背たけよりも高い息子と

一日を遊園地に遊ぶ。

飛行機の乗心地を知らない私たちは
地上わずか十五メートルほどどの

幼い飛行をたのしみ

むさし野の秋を見渡す。

カキの実は色づき

ケヤキの葉は散りはじめた。

まるで秋の秋を見渡す。

遊園地

高田敏子

11月も半ばを過ぎて、朝夕寒さを感じる頃になってきました。この学校だよりに、四季おりおりの詩や皆さんが良く知っている詩など紹介していきたいと思います。この詩は、有名な高田敏子さんの詩です。自分の息子さんが、ちょうど中学2年の頃に書かれた詩だそうです。なんとなくしんみりとしてくる詩ですね。

さて、先日の学校だよりも紹介しましたが、おやじの会の皆さんやPTA本部の方々のご協力によって、校舎全館の廊下の壁塗り作業が終わり学校中がとても明るくきれいになりました。部活動で下校していく生徒の皆さんが口々に「ご苦労さまです」とねぎらいのことばをかけてくれてPTAの方々もとても感心していました。なにげない一言が、人の心をなごませ「また、がんばろう」という気持ちにさせてくれます

